

令和3年10月27日

| 発 言 者 | 発 言 要 旨 |
|--------|--|
| 梅津委員 | 東北農林専門職大学について、開学が1年遅れた要因は何か。 |
| 農政企画課長 | <p>当初、令和5年4月開学を目指して取り組んでいたが、新型コロナウイルスの影響を受け、東京へ出張できず、教員の招聘活動が進まなかったことが要因である。</p> <p>教員招聘の具体的な状況については、総勢30名の教員を予定しているところ、現段階で実務家出身の教員として県職員13名から内諾を得ている。その他、外部の教員については、10月1日から12月28日までの期間で公募しており、農業分野で8名、林業分野で5名を予定している。その他、幹部教員として、大学の学長、学部長等に内諾をもらっている。</p> |
| 梅津委員 | 教員の招聘活動以外に、建物や施設の遅れの問題はないのか。 |
| 農政企画課長 | ハード整備に大きく影響は出ていないが、課題としては、現在の実習施設の規模では不足部分があることから、一体的なキャンパス整備が必要となり、その分事業費が大規模になる見通しであるため、できる限り有利な財源で進められるよう検討が必要である。 |
| 梅津委員 | 文部科学省への認可申請について関係機関に委託しているとのことだが、詳細はどうか。 |
| 農政企画課長 | 来年10月に専門職大学の設置認可申請書を文部科学省に提出する予定であることから、大学設立支援を専門とするコンサルタント業者に検討支援業務を委託し、アドバイスを受けながら申請書作成に取り組んでいる。 |